

Denkei

2018年3月期（第73期） 決算説明会

2018/6/15

東京証券取引所JASDAQ
証券コード：9908

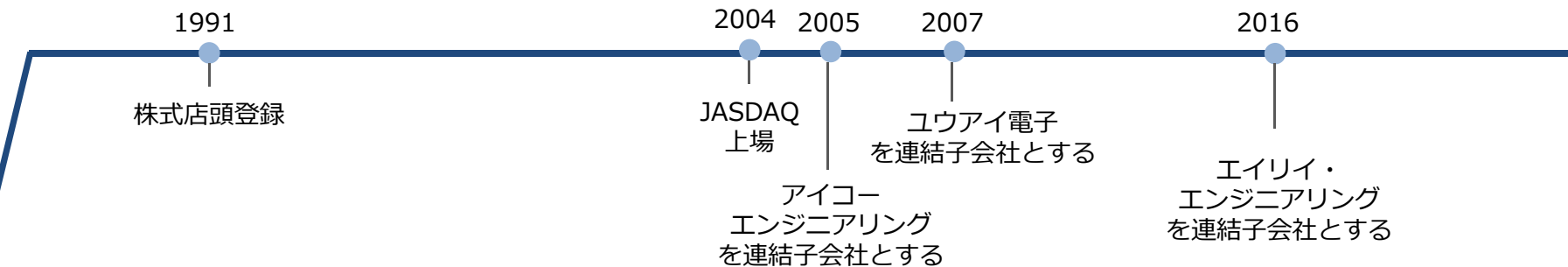
 日本電計株式会社

1. 会社概要
2. 2018年3月期業績の概要
3. 2019年3月期業績予想
4. 中期経営計画

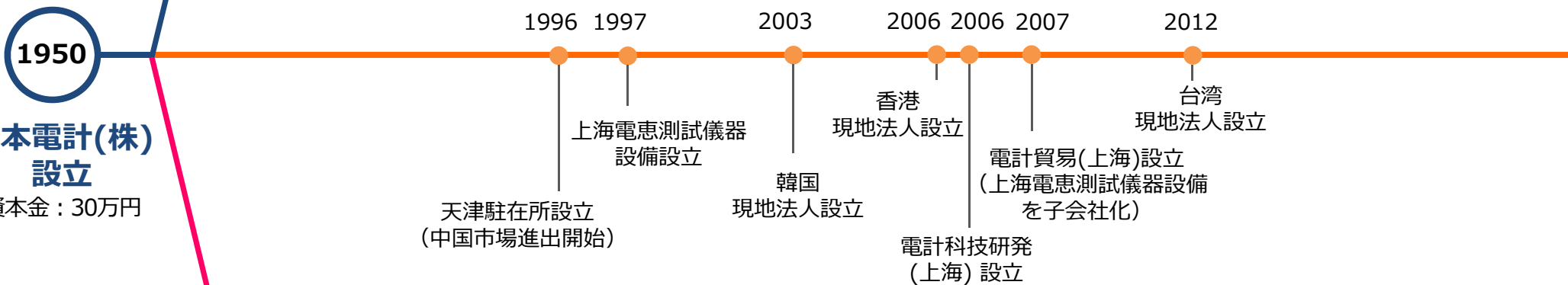
1. 会社概要
2. 2018年3月期業績の概要
3. 2019年3月期業績予想
4. 中期経営計画

会 社 名	日本電計株式会社
本社所在地	東京都千代田区外神田 3 - 5 - 1 2 聖公会神田ビル
代 表 者	代表取締役社長 柳 丹峰
設 立	1 9 5 0 年 9 月 4 日
公 開 市 場	J A S D A Q (1 9 9 1 年 1 0 月 8 日)
発行済株式数	7, 8 7 9 千株 (2 0 1 8 年 3 月 3 1 日 現 在)
資 本 金	1, 1 5 9 百万円 (2 0 1 8 年 3 月 3 1 日 現 在)
従 業 員 数	9 6 3 名 (連 結) 、 4 6 3 名 (単 独) (2 0 1 8 年 3 月 3 1 日 現 在)
事 業 所	営業拠点として国内 3 9 拠点・海外 1 1 カ国 3 9 拠点 (現地法人含むグループ・2018年3月31日現在)
事 業 内 容	電子計測器を中心に、科学・光学・精密機器、環境・試験機器、 コンピュータおよび関連機器などを取扱う独立系の専門商社で、 電子計測器に関しては日本で業界トップシェアを有する。 約 5, 0 0 0 社のメーカーの数万種に及ぶアイテムを、多様化する ユーザーニーズに対応して販売。

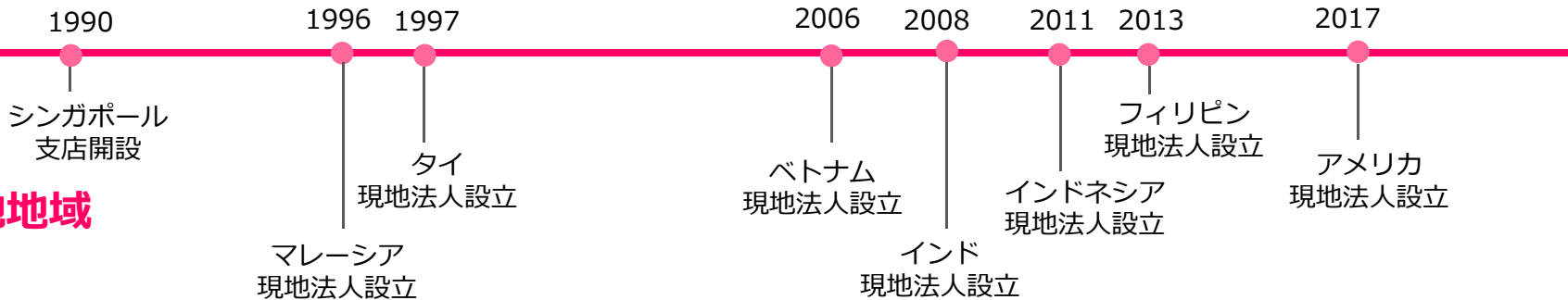
国内



中国・台湾・韓国



その他地域



1. 顧客企業の喜びを通して、その一層の発展に貢献する、
信頼されるエクセレントパートナーになる。
2. 公正にして明朗な社会の実現に向けて、
尊敬されるベスト・コンプライアンス（法令遵守）カンパニーになる。
3. 地球環境の回復と維持保全を図る、
生きている地球のグリーンパートナーになる。
4. 最先端技術の発展と新製品の開発・生産に寄与できる、
ボランティア（自発的貢献）・グローバルカンパニーになる。
5. 活力と企業価値を高め、社員にとって働き甲斐のある、
健全経営のヘルシーカンパニーになる。

- 2009年 中国四川省「希望プロジェクト 電計希望小学校」 寄付
- 2011年 東日本大震災時の復興寄付
- 2017年 「中国青少年発展基金会」を通じて希望小学校へ追加寄付





コンプライアンスの徹底と企業文化の進化

- 企業理念・コーポレートガバナンスをグループ全体の企業文化として浸透させ定着させる
- 自ら価値を創造し続ける力を強化し、持続的な発展と企業価値の向上

経営スピードの向上

- ◆ 経営に資するPDCAの設定と迅速な意思決定
- ◆ 持続的成長を実現するために実行スピードの加速

実行力の強化

- ◆ 権限・責任の明確化による実行力を追求する体制構築
- ◆ 各事業においてスピード感を持った意思決定・事業遂行

グループ経営の強化

- ◆ グループ経営健全化
(ROE10%以上 自己資本率40%以上を目指す)
- ◆ Denkeiグループ全体のシナジー効果の追求

人材基盤の強化

- ◆ Denkeiグループの将来を担う人材を戦略的・計画的に確保・育成・活用するための人事施策に積極的に取り組む

営業拠点として国内 39 拠点・海外 11 カ国地域 39 拠点
(現地法人含むグループ)



国内 39 拠点 (国内子会社を含む)





電子計測器



環境・試験機器



理化学分析装置



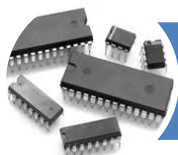
画像測定・表面観察



製造加工装置



新エネルギー関連測定機



電子部品



ロボデックス技術関連



先進運転支援開発



3Dプリンタ



情報機器・ソフトウェア



校正・受託試験



リース・レンタル



輸入代行

1. 会社概要
2. 2018年3月期業績の概要
3. 2019年3月期業績予想
4. 中期経営計画

- 経営環境は、国際政治の不安要因があったものの総じて、好景気
- 自動運転開発・スマホの新機種開発で計測機器環境は好調を維持
- 為替は4～12月まで112円～113円で安定的に推移。1月からやや円高で進行した。為替差損益は連結で2,000万円のマイナスにとどまった。

2018年3月期（73期） 損益計算書

Denkei

1. 電子・電機業界

- ・ 新型スマートフォン・タブレット端末や有機ELテレビ等の販売で、関連する半導体・電子部品メーカーの業績が好調

2. 自動車業界

- ・ 自動運転の実用化に向けての開発が積極的に進められている
- ・ 安全性試験、環境試験等の設備投資も旺盛

単位：百万円（百万円未満切捨て）、％

	2017/3 (72期)		2018/3 (73期) 前期比			
		構成比		増減	伸率	構成比
売上高	83,798	100.0	94,990	11,192	13.4	100.0
売上原価	74,349	88.7	84,163	9,814	13.2	88.6
売上総利益	9,449	11.3	10,827	1,378	14.6	11.4
営業利益	2,297	2.7	2,940	643	28.0	3.1
経常利益	2,389	2.9	2,971	582	24.4	3.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,611	1.9	1,911	300	18.6	2.0

2018年3月期（73期）セグメント別

Denkei

売上先別の地域を日本・中国・その他地域の3つにセグメント

○日本、中国ともに、電子・電機業界、自動車業界でのニーズは旺盛で、営業拠点網を活用してニーズを把握、売上は大幅増加

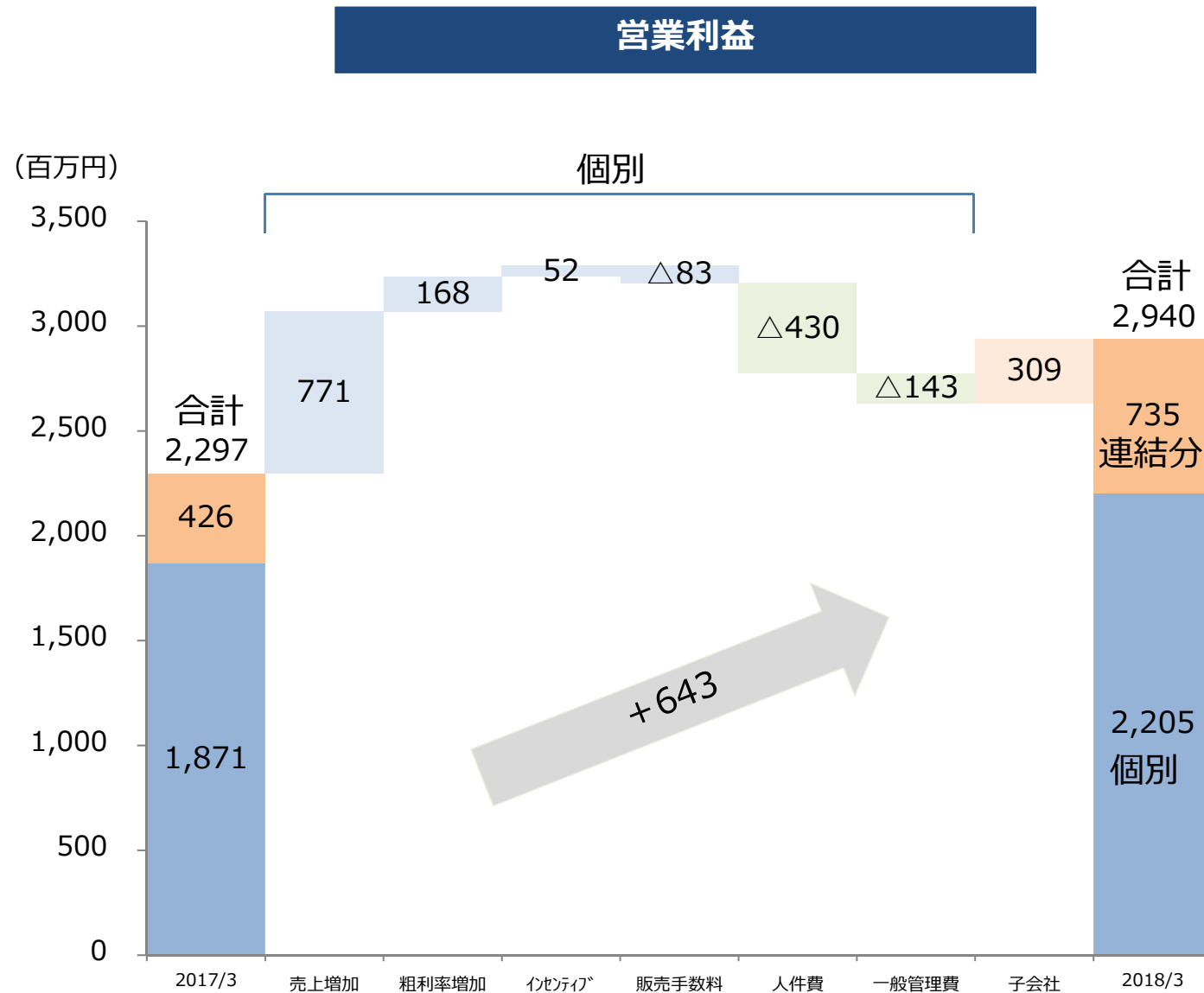
○その他地域では、韓国向けは有機EL関連が増加、アメリカ向けは、自動車関連が増加

単位：百万円（百万円未満切捨て）、％

		2017/3 (72期)	2018/3 (73期)	前期比		
				増減	伸率	構成比
日 本	売上	76,143	84,937	8,794	11.5	89.4
	営業利益	3,117	3,531	414	13.3	120.1
	利益率	4.1	4.2	0.1	—	—
中 国	売上	8,193	10,670	2,477	30.2	11.2
	営業利益	295	440	145	49.2	15.0
	利益率	3.6	4.1	0.5	—	—
そ の 他 地 域	売上	2,655	3,356	701	26.4	3.5
	営業利益	1	156	155	155倍	5.3
	利益率	0.0	4.6	4.6	—	—
調 整 等	売上	△ 3,194	△ 3,974	△ 780	—	—
	営業利益	△ 1,118	△ 1,188	0	—	—
	利益率	—	—	—	—	—
合 計	売上	83,798	94,990	11,192	13.4	—
	営業利益	2,297	2,940	643	28.0	—
	利益率	2.7	3.1	0.4	—	—

2018年3月期（73期） 増減分析

Denkei



2018年3月期（73期）貸借対照表

Denkei

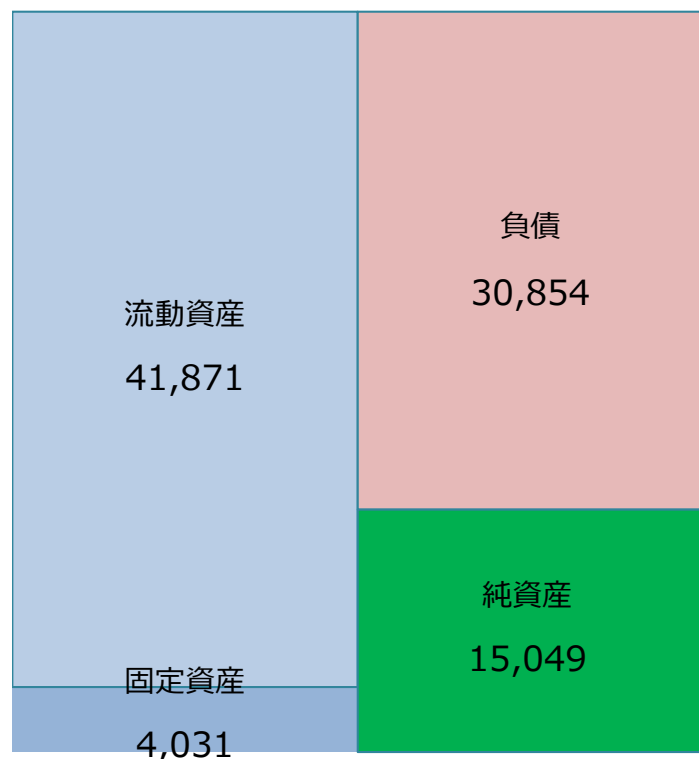
○流動資産

資金回収までのサイトの長い大手ユーザー向けの売上が増加したため、売掛金・電子記録債権残高が大幅に増加（約63億増）

○固定資産

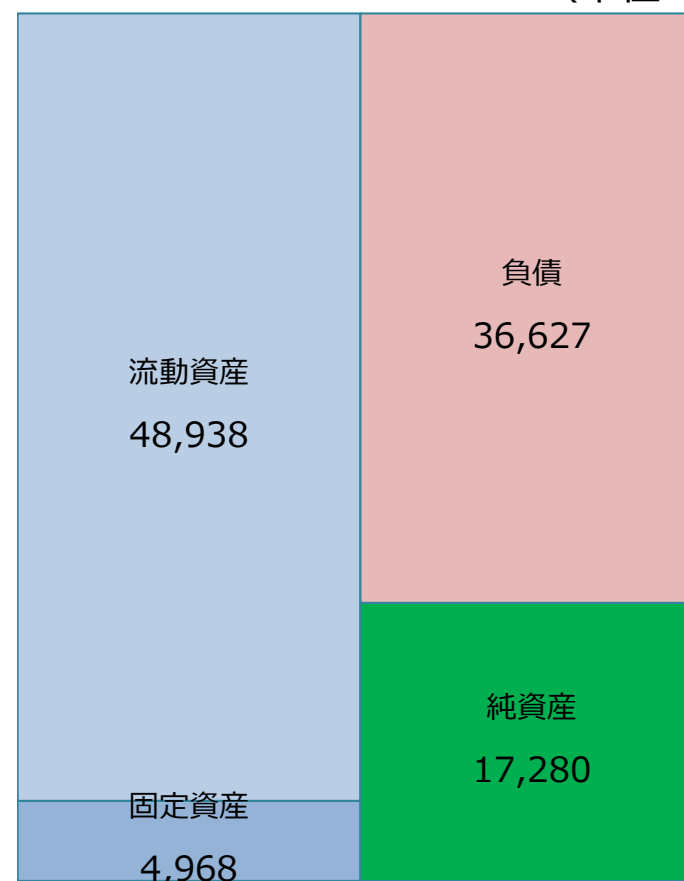
有価証券投資と本社建築の建設仮勘定の増加で約9億増

（単位：百万円）



2017年3月期

自己資本比率
32.3%



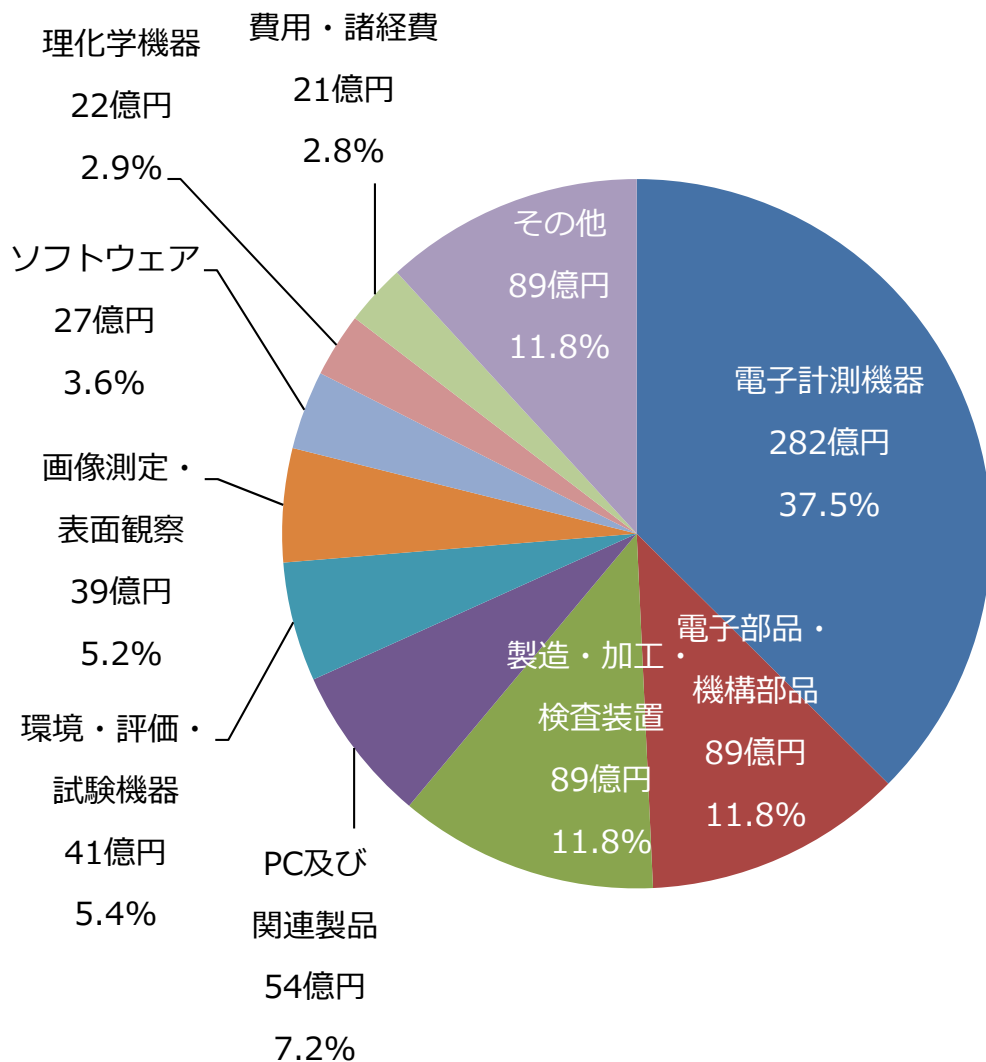
2018年3月期

自己資本比率
31.1%

2018年3月期（73期）売上構成

Denkei

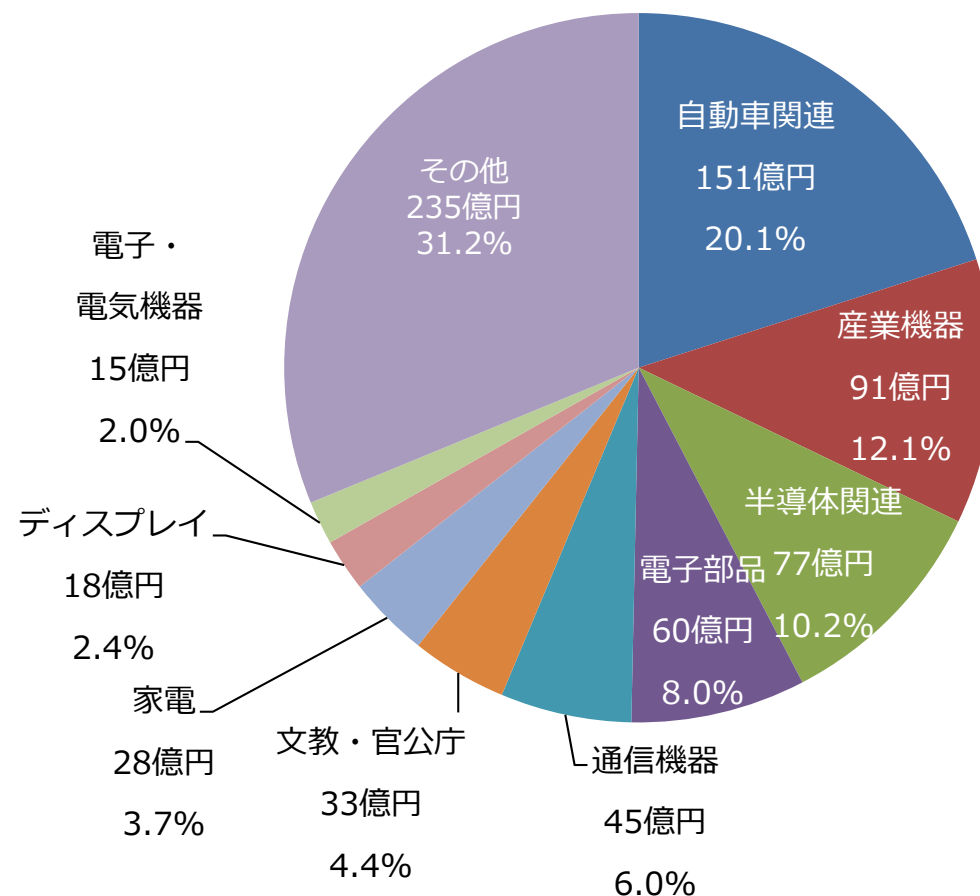
品 種 別



顧客分野別

○顧客分野別

初めて、自動車関連の売上シェアがトップに



1. 会社概要
2. 2018年3月期業績の概要
3. 2019年3月期業績予想
4. 中期経営計画

2019年3月期（74期） 損益計算書予想

Denkei

- 経営環境は、国際政治（米中貿易摩擦、北朝鮮問題、イラン問題等）の不安定要因で不透明感あり
- 前期に引き続き、自動車業界、電子・電機業界での業績は好調を維持するものとみられ、個別・連結ともに順調に推移する見込み
- 初の連結売上高1000億円達成をめざし、個別売上高880億円、連結子会社売上高120億円にチャレンジ

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2018/3 (73期)	構成比	2019/3 (74期) 予想	前期比		
				増減	伸率	構成比
売上高	94,990	100.0	100,000	5,010	5.3	100.0
営業利益	2,940	3.1	3,000	60	2.0	3.0
経常利益	2,971	3.1	3,000	29	1.0	3.0
親会社株主に帰属する 当純利益	1,911	2.0	2,000	89	4.7	2.0

1. 会社概要
2. 2018年3月期業績の概要
3. 2019年3月期業績予想
4. 中期経営計画

Denkeiが取組む4つの市場

Denkei

電子計測機器の専門商社として日本で売上トップを誇る当社は、仕入先との情報連携やグローバルな営業力とソリューション力で今後成長が著しい電子機器産業を中心とした4つの市場で更なる取組を強化いたします。

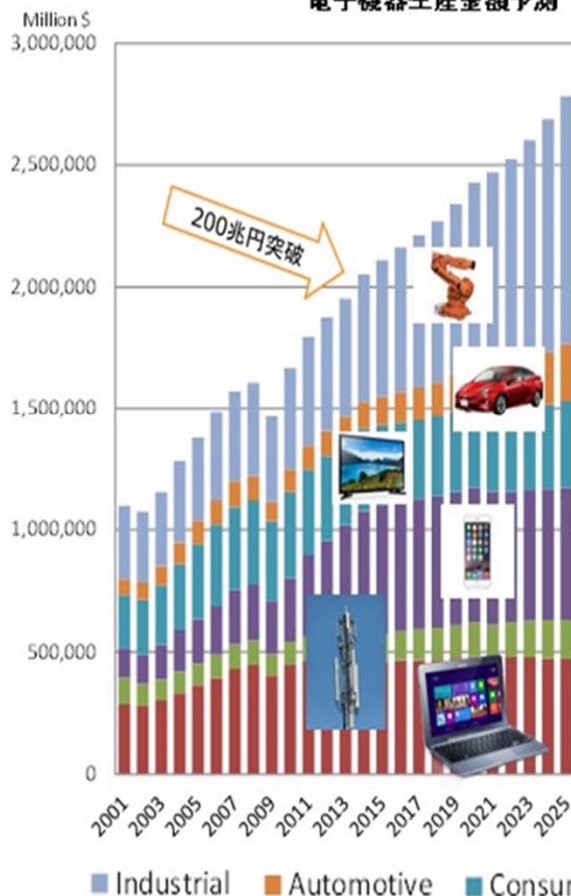


target 1: I o T市場

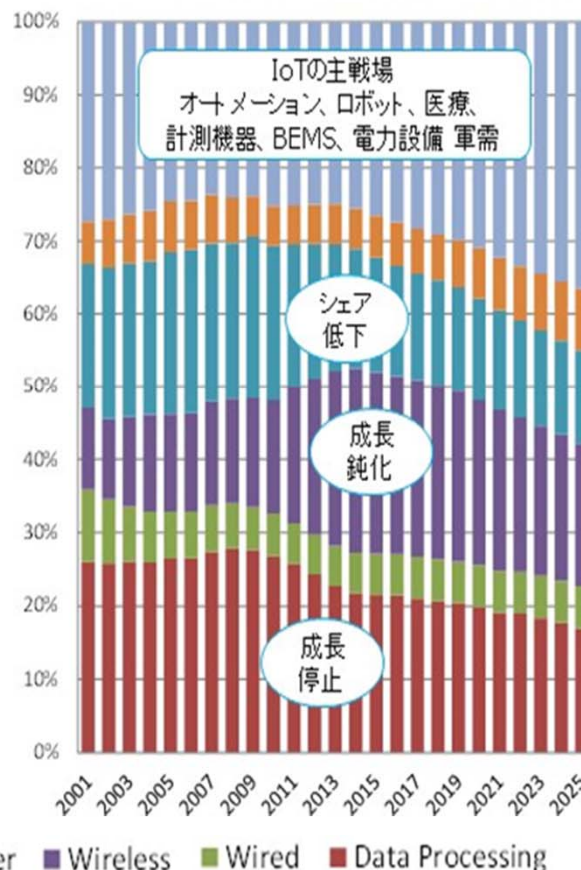
Denkei

家電・くるま・情報機器・生活インフラ等あらゆる製品やサービスの付加価値向上や生産性向上・コスト削減などにIoTをツールとする「ものづくり」「仕組みづくり」が増加

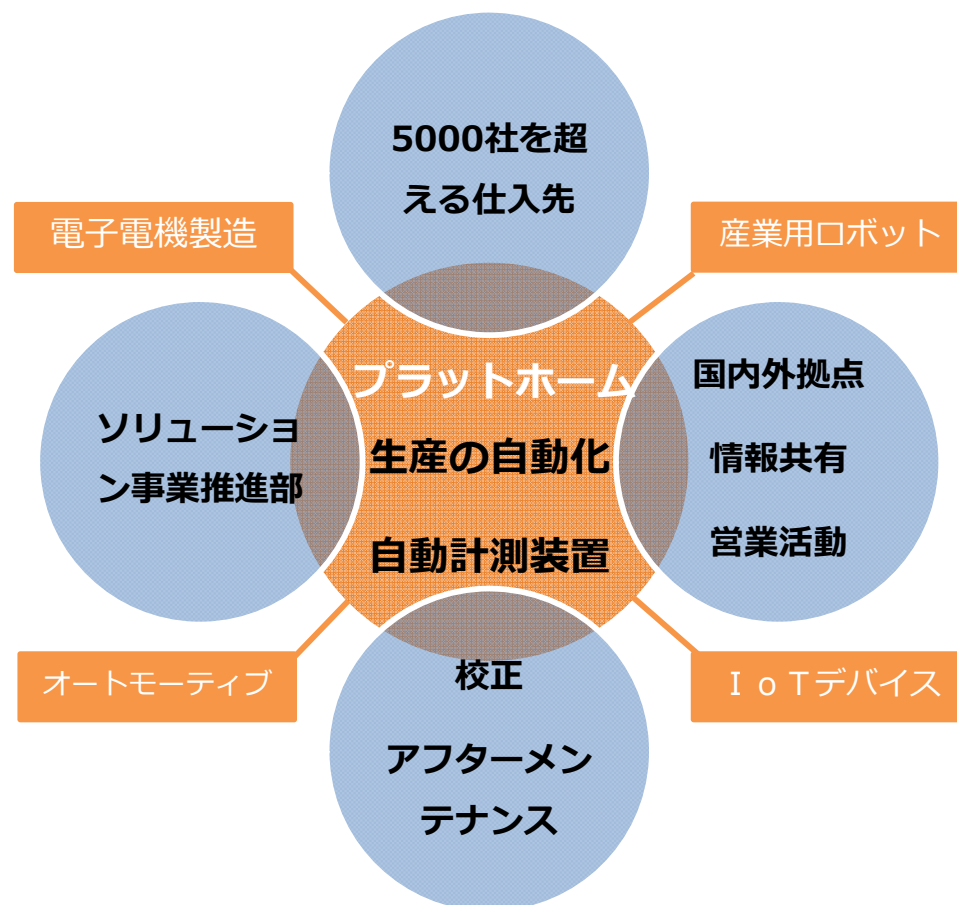
電子機器生産金額予測



電子機器生産金額予測



攻略のポイント



target 2: 新エネルギー自動車市場

Denkei

次世代通信 5G ネットワークの進化や、IoT の普及とビッグデータ活用の進展、ディープラーニング等の AI 化が進み、車とネットワークがつながる「Connected Car」社会が到来。EV や先進運転支援システムにおいても新たなエネルギー技術確立する市場で営業活動を強化する

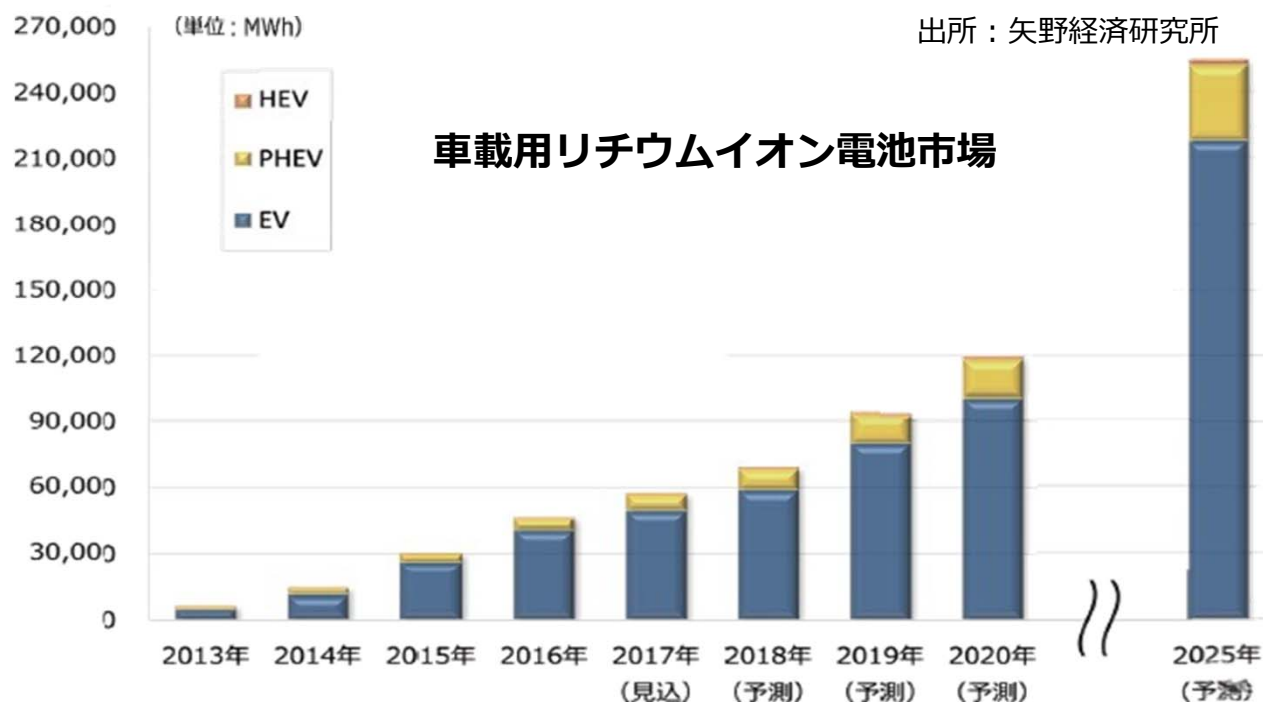
商
材

二次電池の製造評価

電池材料評価分析装置、充放電装置、環境試験装置、電池性能試験装置、等

車載モータの研究開発

電子電気測定器、モータ性能試験装置、インバータ開発評価支援、回生電源、等



充放電システム専任営業

- カスタム対応にて単セル、パック、及びモジュール電池の評価・試験装置の提案
- 中国市場での量産を見据えた安価な海外メーカーの日本国内販売及びサポート体制の構築

評価システム提案営業

- 車載用モータ・インバータにおける技術開発、信頼性評価や検証試験装置の提案
- 回生双方向電源を用いた電気自動車用パワートレインの開発を国内、海外でサポート

今後更に、車載電子機器・センサーの開発が一層加速し、当社の顧客である電子・電機機器メーカーも設備投資に積極的である。また、新規に車載関連事業に参入するメーカーも多い。

驚異的な成長が見込めるオートモーティブ・センサー市場

カメラ、レーダ、LiDAR、超音波センサなど多数のセンサの組合せが必要

- ・車載カメラ
- ・ミリ波レーダー
- ・LiDAR(レーザースキャナー)
- ・超音波センサー

LiDAR(レーザースキャナー)
前方障害物検知・精密位置測定

ミリ波レーダー
(前方遠距離、後方近距離)

超音波センサー
(前後、側方障害物検知)

車載カメラ(前後、側方)



Target 3 : ADAS・自動運転市場

Denkei

customer

ECUメーカー

Bosch、Continental Automotive、Delphi、Valeo、アイシン精機、ケーヒン、デンソー、デンソーテン、パナソニック、日立AMS

半導体メーカ

ルネサスエレクトロニクス、Infineon Technologies、NXP Semiconductor、STMicroelectronics、

電子部品メーカ

TDK、村田製作所、太陽誘電、KOA、他

technology

ACC
アダプティブクルーズコントロール
FCW
前方衝突警告
AEBS
衝突被害軽減制動制御装置
NV/PD
ナイトビジョン
歩行者検知
TSR
交通標識認識
LDW
車線逸脱警報
LKAS
車線逸脱防止支援システム
BSM
死角モニタリング
RCTA
リヤクロストラフィックアラート
DM
ドライバーモニタリング
APA
高度駐車アシスト

strategy

ドライビングシミュレータ
ターゲットシミュレータ
レーダアライメントシステム
3Dマッピングシステム
e-CALL
HILLS
GNSSシミュレータ
カメラモニタ試験システム
実車走行試験用ロボット
AI
車載ネットワーク
V2X
センサー試験用ターゲット
車載EMC試験

主なメーカ

ZMP
測位衛星技術
キーコム
VBOX
JARI
TUV 他

marketing

大規模展示会参加

ADAS・自動運転技術開発に関わる商材を出展し
リードの獲得

人とするもの テクノロジー展

(横浜)
(名古屋)

自動運転EXPO

(名古屋)

コネクティッド・ カーEXPO東京

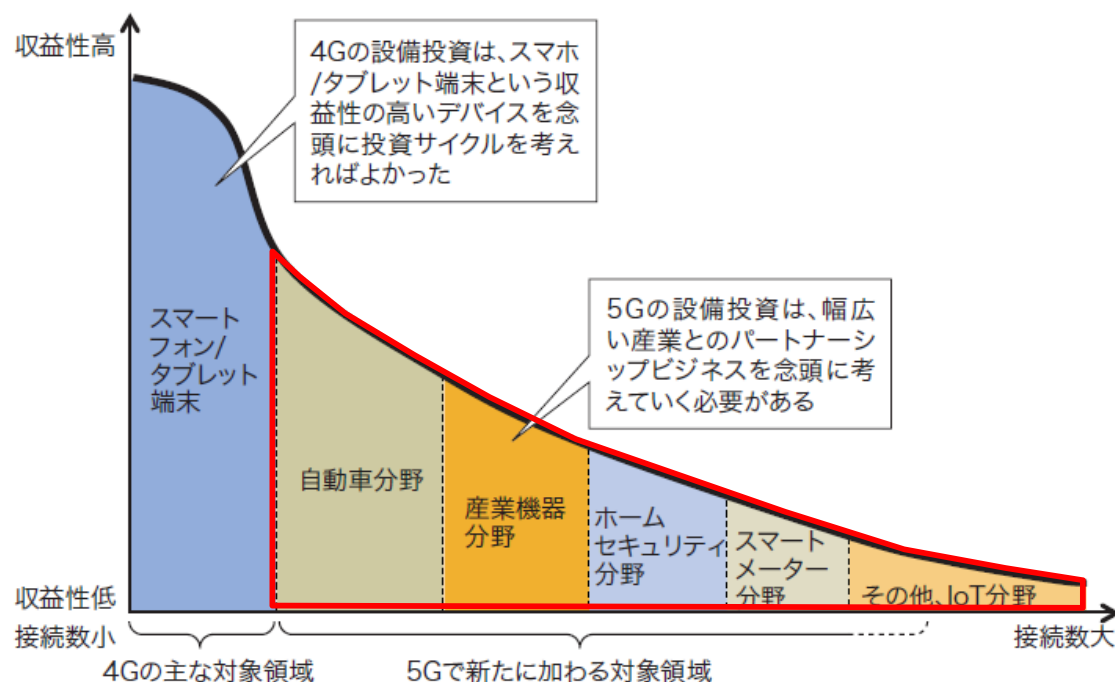
(東京)

Target4: 次世代通信 5 G 市場

Denkei

次世代通信 5 G 市場において、センサや高周波部品のインテグレーションやセンサフュージョンを強みに持つ顧客層は多く、I o T 機器の革新的な技術開発が進む。高速・大容量通信技術を活用した産業機器や自動車産業市場で成長する

産業構造の変化



出所：日経コミュニケーション2015/04号

Denkei

国内33営業所
海外39拠点

異種システム対応
するために各分野
においてフレキシ
ブルなシステム提
案を実現する

5 G 計測機器メーカーとの関係

キーサイト・テクノロジー

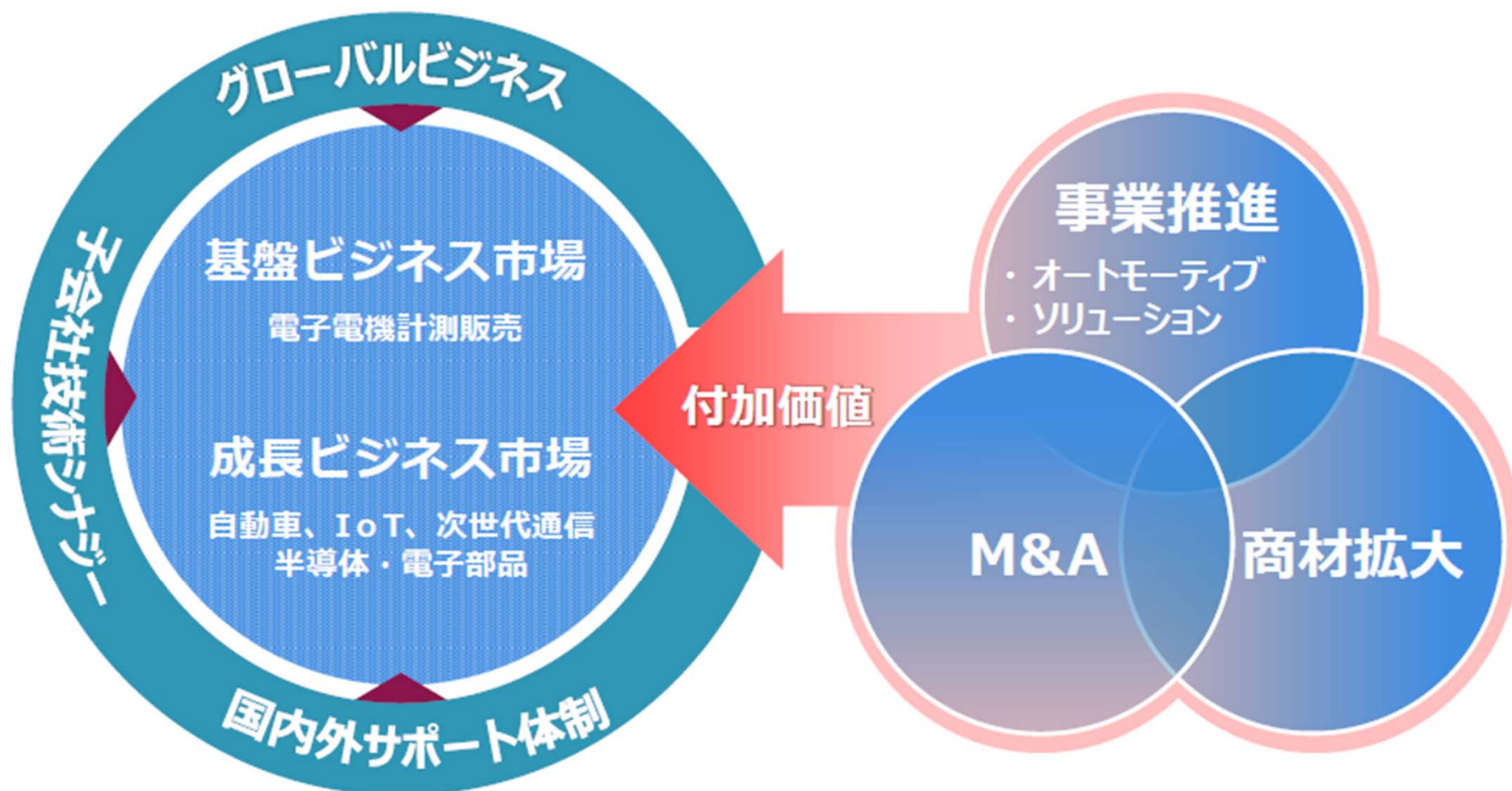
テクトロニクス

ローデ・シュワルツ

アンリツ

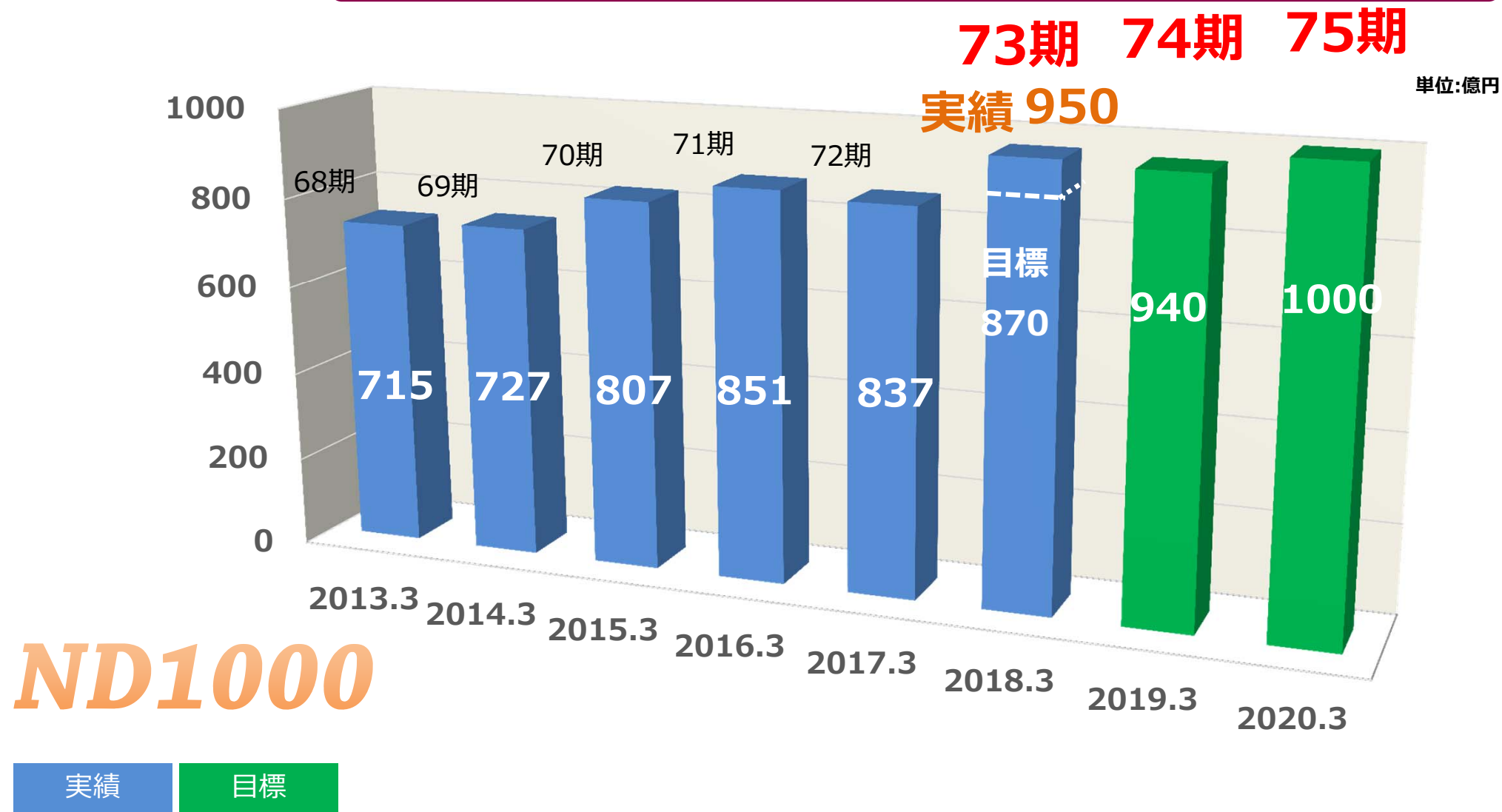
他・高周波メーカー

電気計測器の基盤ビジネス及び自動車の電子化や次世代通信技術などの成長ビジネスに対して付加価値創出によりグローバルに事業の拡大を目指します。



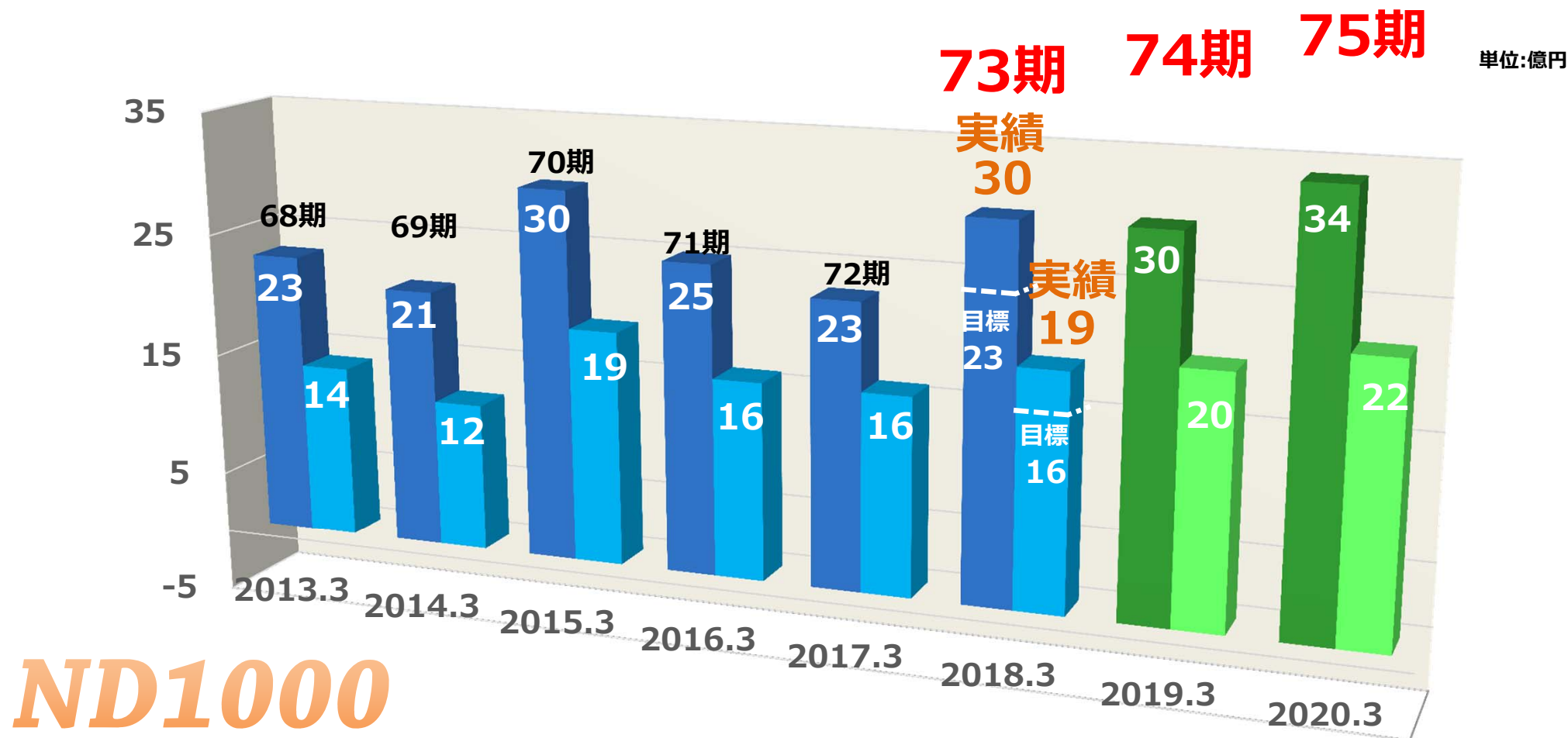
連結売上高

2020年3月期 連結売上高1000億円を目指す



経常利益・純利益

2020年3月期 経常利益34億円を目指す



経常利益

純利益

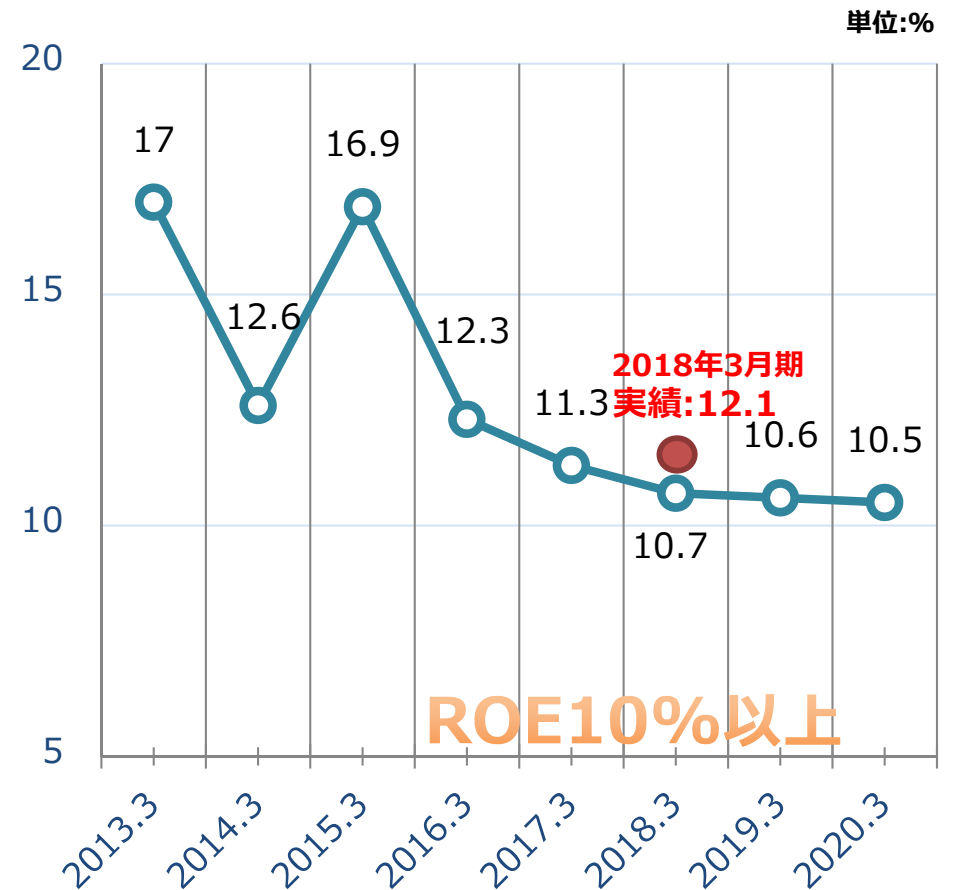
経常利益(目標)

純利益(目標)

総資産・純資産・自己資本比率

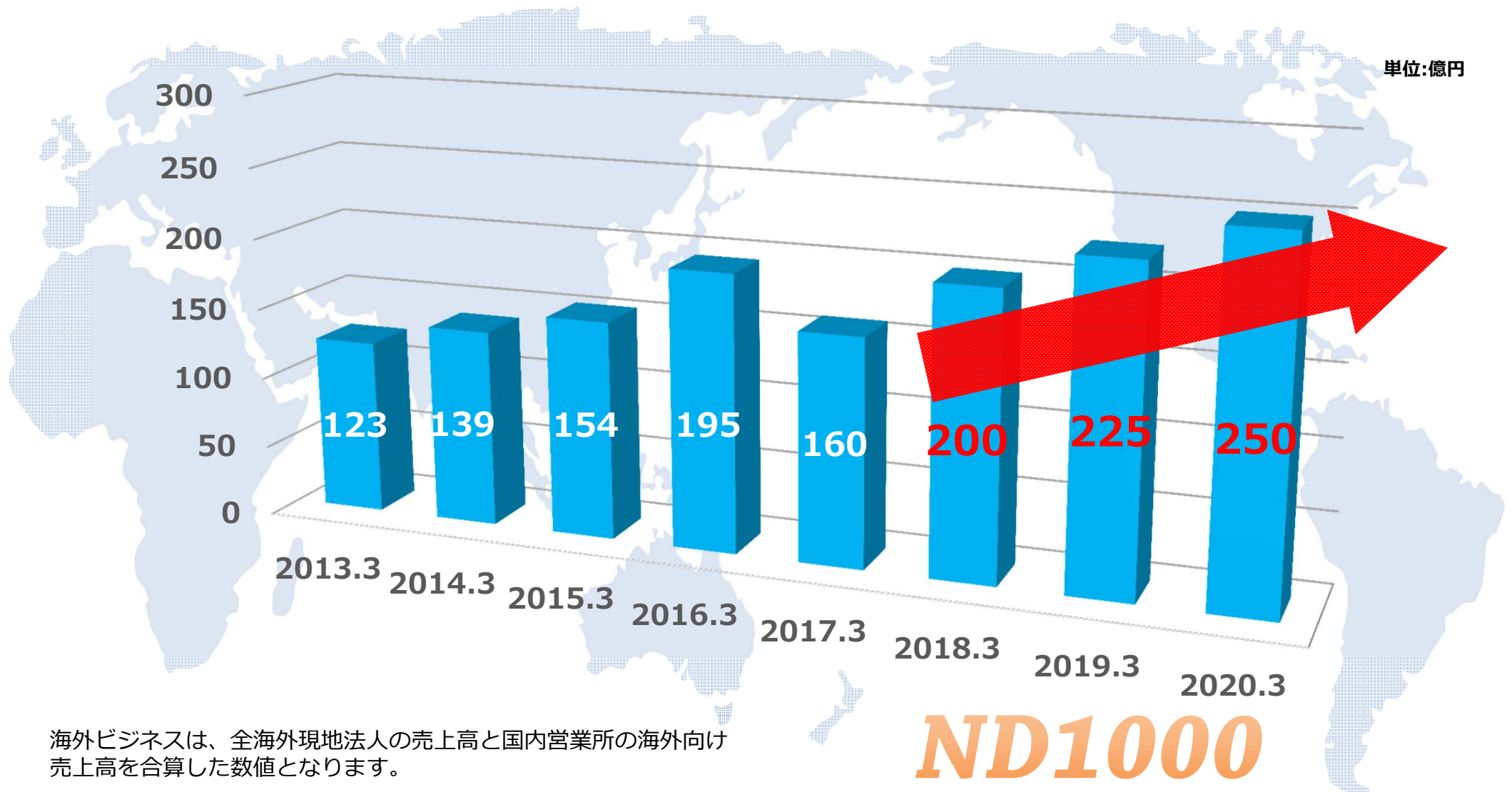


自己資本利益率 (ROE)



海外取引

2020年3月期 海外ビジネス250億円を目指す



[新本社ビル建築概要]

- 場所 : 東京都台東区上野 5 丁目14番12号
- 敷地面積 : 415.14m²
- 建築面積 : 4,003.24m²
- 鉄骨造 : 地下 1 階 ; 地上 1 0 階建
- 施工 : 高松建設株式会社
- 竣工 : 2019年 8 月



《基本方針》

- 業績、財務状況等を総合的に勘案
- 継続かつ安定的に配当を実施する方針
- 連結配当性向は20%程度を目標
- 業績が好調に推移すれば、積極的に株主への還元を図る方針

《過去の配当の状況》

単位：円（1株当たり）、%

	63期	64期	65期	66期	67期	68期	69期	70期	71期	72期	73期
中間	18	13	5	7	7	12	12	13	13	13	13
期末	20	10	5	15	20	23	23	25	25	27	29
年間	38	23	10	22	27	35	35	38	38	40	42
配当性向	124.4	—	—	21.7	15.2	19.2	22.2	15.3	18.4	19.5	17.2
備考		リーマン ショック									

時期	株価	時価総額	PER	PBR
2017年3月	1204円	95億円	5.9倍	0.63倍
2018年3月	1865円	147億円	6.9倍	0.82倍
株価増加率	55%増	ジャスダック市場 平均値	15.07倍	1.58倍

ジャスダック平均値PBR1.58倍で計算すると

株価	時価総額
2946円	232億円

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

日本電計株式会社
IR推進

Email : honsha@n-denkei.co.jp